

5月家読カードを紹介します。

現在、1学期の全校読書週間期間中ですが、お子さんの読書への取り組みの様子はいかがですか。読書週間は残り1週間となりました。また、明日から3日間は、本を読む日(4~6のつく日)です。ご家庭でも、ぜひ、読書の時間を設けてください。よろしくお願いいたします。

「はしるはしるとつきゅうれっしゃ」 1年男子

<自分>

れっしゃのしくみがわかってよかった。

<父>

最近息子は生き物に夢中になっているようだが、乗り物が大好きだった頃を思い出しながら、楽しんで読んでいた。大人でも知らないことがたくさん載っていて、二人で話し合いながら読めたのでよかったと思う。



「きみはぼくだね」 2年女子

<自分>

ねこがくまの大じな絵をぐちゃぐちゃにしてかわいそうだった。でも、さいごは絵をなおして、くまはうれしそうだった。

<母>

ゆうたくんもくうちちゃんもお互いのことを思いやり行動に移す様子が伺え、娘にも相手の気持ちを考え、勇気を出して行動する気持ちを忘れず日々過ごしてもらいたいと思った。



「おはようしゅうしゅう車」 3年男子

<自分>

しゅうしゅう車の人にかんしゃしないといけないなと思った。

<父>

ゴミを集める収集車は、私たちの生活に欠かせない大切な仕事だと思った。

<母>

いつもゴミ箱に捨てるゴミは、その後、ゴミを集めて捨てる仕事をしてくれる人がいるということが分るとてもよい絵本だなと思った。感謝する心を持って生活したいし、感謝する心を忘れずに育ててほしい。



「いじめ~過去へのエール」 5年女子

<自分>

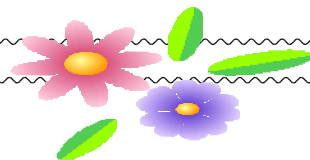
まながみちかと久しぶりに会ったけど、無視をしてしまい、みちかが行方不明になった。でも、最後にまなと会えたのでよかった。いじめはいけないと思った。

<母>

主人公が再会した親友がいじめを受けていることを知り、自分も無視してしまう。いじめられる人といじめられる人の心の動きが感じられる。いじめはいけないことだともっと思っしてほしい。

<祖母>

親友だった主人公との再会で昔とは打って変わっていた友がいじめのターゲットに・・・いじめは1番いけないこと、自分がその立場だったらと考えたらできないと思う。いじめは絶対してはいけないことだし、あってほしくないと思う。



「どんぐり村のぱんやさん」 4年女子

<自分>

最初失敗したパンが、ケーキを入れるものに使われていたのでおもしろいなと思った。

<父>

お父さんを助けようとしてパンを作った姉はすごいと思った。遊園地には行けたのかな。パンがいっぱい売れてよかったね。

<母>

こっぺとくっぺがお父さんとお母さんのために一生懸命パンを作っている姿がかわいくてジーンとした。

<姉>

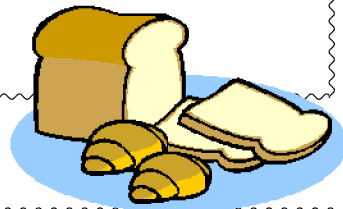
私はパンが大好きなので、出てくるパンが食べたくなった。どんぐりパンも食べてみたいけど兄妹が作った大きいパンも食べてみたい。おいしそう。

<祖父>

いろんなパン、美味しそうだよね～

<祖母>

失敗しても皆で考えてパンを作り売れるようになってよかったと思う。



「ありがとうともだち」 2年女子

<自分>

きつねくんがオオカミくんをたすけてやさしいなおもった。こんどわたしもうみづりをしたい。

<父>

いいところ見せようと大きなウソをつき、八つ当たりまでしてしまうオオカミ。それを純粹に信じ、優しく接するキツネ。きっとオオカミの心の中で変化があったはず。

<母>

見栄を張ってウソをついてしまったオオカミを信じて、楽しく過ごし優しい言葉をかけたキツネに心が温まった。オオカミも見栄を張らずに本当のことを話し、本当の友達になれるとよい。

<妹>

うみづりをやってみたい。



「ティズニーのそうじの神様」 6年男子



<自分>

そうじの神様の「自分自身が夢を持っていないと人に夢を与えることができない」という言葉を読んで、自分の夢がほかの人の心を動かすんだなあと思った。

<母>

「僕たちの仕事は床をきれいにするだけじゃない。ゲストに夢を与え、幸せを提供するのが仕事なんだ。何より大事なのは、チームで仕事をする事」一緒に働いている人を家族のように思い、そんな中でいい思い出ができると思う。



「くもの糸」 6年男子

<自分>

どんなことがあってもやっぱり悪いことはしてはいけないと思った。

<父>

常に他人(友人など)の気持ちを考えられるやさしい心を持つ人間になってほしいとわが子に期待したいと思う本だった。

<母>

少し難しいと思ったが、読ませてみた。手を差しのべてくれた人を裏切っではいけないこと、自分だけがよい思いをしようと思っではいけないことなどを学んでくれればよいと思う。

「ココロ屋」 4年男子



<自分>

男の子がいろいろな心に入れ替えて、子どもたちにやさしくしてあげて心が温まった。

<母>

私も簡単にこころを入れ替えることができれば、その場面毎に一番の対応ができれば、すばらしい人間になれるなあと思います。でも、子どもには、いろんな経験をして成長したころを持ってもらえたならいいなあと思った。